

海外感染症流行情報 2024 年 6 月

(1) 全世界: COVID-19 とインフルエンザの流行状況

COVID-19 の患者数は、6 月に入り欧米諸国や日本などで増加傾向にあります(米国 CDC 24-6-21、ヨーロッパ CDC 24-6-14、厚生労働省 24-6-21)。台湾、マレーシア、タイなどのアジア諸国でも患者数の増加がみられます(ProMED 24-6-18,19)。これから北半球では、COVID-19 の夏の流行期に入るものと考えます。インフルエンザについては、南半球の温帯地域で A 型の流行が発生しています(WHO influenza 24-6-23)。オーストラリアや南アフリカでは昨年と同等の患者数ですが、南米のチリなどでは増加しています。

(2) アジア: デング熱流行状況

東南アジア各国でデング熱の患者数が昨年よりも増加しています(WHO 西太平洋 24-6-13)。米国 CDC は、インドネシア、シンガポール、ラオス、カンボジアを例年より患者数の多い国にリストアップしました(米国 CDC 24-6-20)。南アジアでもスリランカ、バングラデシュで患者数が増加中です(ProMED 24-6-21)。なお、今年はオーストラリアでもデング熱の患者数が 1000 人と、例年の 2 倍の数になっています(WHO 西太平洋 24-6-13)。また、サモアやフィジーなど、太平洋の島国でも例年より多い患者数が報告されています。日本ではデング熱の輸入例が 6 月中旬までに 88 人で、昨年同期(31 人)の倍以上になりました。

(3) アフリカ: コンゴ民主共和国のエムポックス流行

アフリカ中部のコンゴ民主共和国では 23 年 9 月からエムポックス(サル痘)の患者が増加しており、今年 5 月末までに患者数は 7851 人、死亡者数は 384 人になりました(WHO 24-6-14)。同国で流行しているエムポックスの病原体は、22 年から世界流行しているウイルスと別系統のウイルスで、致死率が高いとなります。当初は性行為などで拡大していましたが、最近は患者との接触による子どもの感染が増えており、現在の患者の 4 割近くは 5 歳以下の小児です。他国への流行拡大はみられていませんが、WHO は監視を強化しています。

(4) 北米: 米国で鳥インフルエンザ H5N1 型の 3 例目発生

米国ではウシの間で H5N1 型ウイルスの流行が発生しており、病牛を処理した労働者への感染も報告されています。5 月には 3 例目の患者がミシガン州で発生し、オセルタミビルの服用で改善しました(米国 CDC 24-5-30)。今までの患者は結膜炎のみでしたが、今回の患者は発熱や急性呼吸器症状がみられています。いずれの患者も、病牛を処理する際に十分な感染防御措置をとっていませんでした。

(5) 中南米: メキシコで鳥インフルエンザ H5N2 型の患者発生

今年 4 月にメキシコシティで、59 歳の男性が鳥インフルエンザ H5N2 型に感染し、死亡しました(WHO 24-6-5)。メキシコでは家禽などの間で H5N2 型ウイルスの流行が起きており、この患者は病気の家禽から感染したとみられています。H5N2 型のヒトへの感染例は今回が初めてです。

(6) 中南米: デング熱患者が急増

中南米では6月中旬までにデング熱の患者数が 930 万人まで増加し、昨年の年間累積患者数(460 万人)の 2 倍になりました(米州保健機関 24-6-18)。このうち 4500 人以上が死亡しています。ブラジルなど南米の患者数が大多数ですが、メキシコ、グアテマラなど中米諸国でも 6 月になり患者数が増えています(英国 NaTHNaC 24-6-20)。